

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	NPO 法人八潮ハーモニー
支援対象者・エリア	宮城県名取市閑上（ゆりあげ）
企画開催地	東京都品川区八潮及び宮城県名取市閑上
企画名称	第8回キャンドルナイト イン 八潮
実施期間	30年6月23日～10月28日

支援活動の目的・内容・感想

（どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など）

① 支援活動の目的：

私たち八潮ハーモニーでは、2011年3月の東日本大震災以降、宮城県名取市閑上の方々と繋がり、キャンドルの灯りで復興支援をされている彼らの活動に深く共感しました。これを契機として、私たちも、毎年夏に品川区の京浜運河で、「キャンドルナイト イン 八潮」を開催し、お亡くなりになった方々の御霊を慰め、被害を受けた人々を励ますためのイベントを継続して行ってきました。7年たった今、「3.11を忘れない」、「繋がろう未来へ」を新たなテーマとして、近隣の人々や企業を繋ぎ一層の共感を得られるような取り組みを提案することが目的です。

② 支援活動の内容：

「第8回キャンドルナイト イン 八潮」において、会場の京浜運河護岸に「3.11」、「絆」等メッセージをキャンドルライトで1週間展示し、また、宮城県名取市閑上仮設住宅住民一同様制作の「閑上のメッセージ」行灯を展示し、3.11東日本大震災の復興支援に繋がる「復興支援キャンドル」を購入していただき、イベント終了後に、「閑上地区見舞金」を贈りました。

③ 感想：

メンバーが8年経って、やはり徐々に年をとっているのが、夏のお盆の時期の開催が体力的にきつくなっています。しかし震災の直後、7月16日から始まり夏のお盆の時期で、八潮が田舎である若者がキャンドルナイトがあるなら帰ろうと集まってきてくれることになり、キャンドルナイトが心のふるさとのコミュニティになるといいとの希望からもこの時期で頑張ってきました。もっと若い方々にも手伝ってもらい参加していただける作り方ができると世代交代もやっていると感じます。SNSの写真や動画でキャンドルナイトを知り寄付を送ってくださった全国の皆様からのアイデアなども伺いメディアへの宣伝のお願いなども、来年は実現させたいです。

活動の様子（写真など）



NPO 法人八潮ハーモニー制作
3.11 絆 富士山 太陽 月



名取市閑上仮設住宅住民一同様制作の「閑上のメッセージ」